

元 茨 木 川 緑 地
植 栽 管 理 ガ イ ド ラ イ ン
概 要 版

令和3年 7月 茨木市

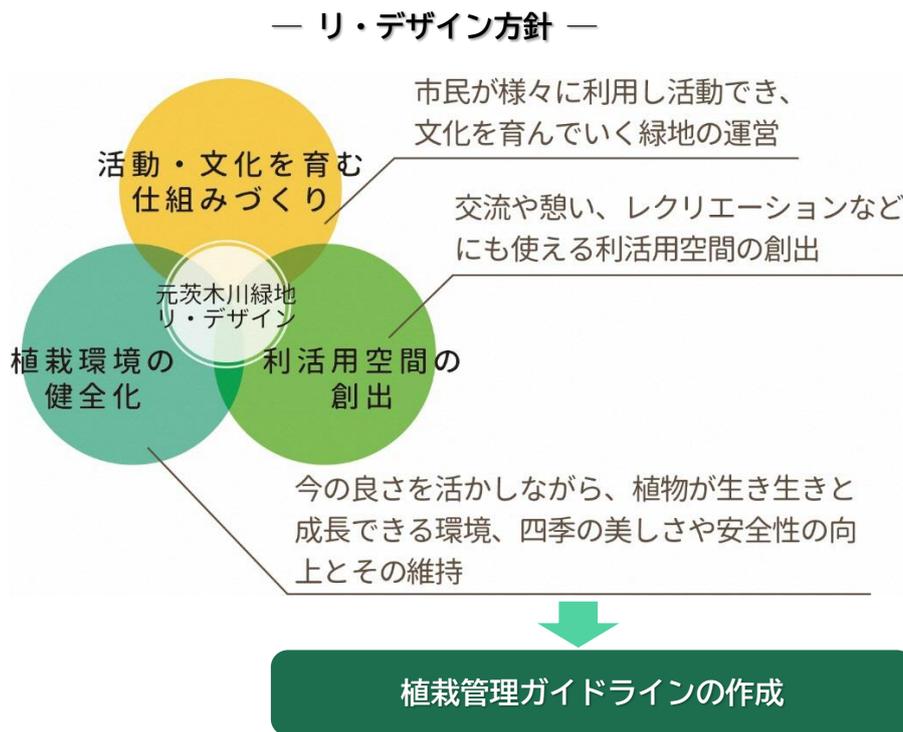
1. 背景と目的

元茨木川緑地では、市民の多様で魅力ある活動が生まれ広がる場を目指し、開設から約40年が経過し老朽化した施設や植栽を見直すため、「元茨木川緑地リ・デザイン計画」（以下「リ・デザイン計画」という）を平成31年3月に策定しました。

リ・デザイン計画では、3つの基本方針の1つに「植栽環境の健全化」を掲げ、植物が健全に生育し、倒木リスクの軽減など市民が安全かつ快適に利用できる植栽環境づくりを目指しています。

また、リ・デザイン計画では、市民ワークショップ等の市民意見や専門家のアドバイスを踏まえ、元茨木川緑地リ・デザインが目指す望ましい植栽環境として、「サクラが楽しめる」、「明るくて見通しがきく」、「四季を楽しめる」、「利活用できる広場等の空間がある」、「今のまま」の植栽環境としており、望ましい植栽環境を実現するための植栽管理が望まれます。

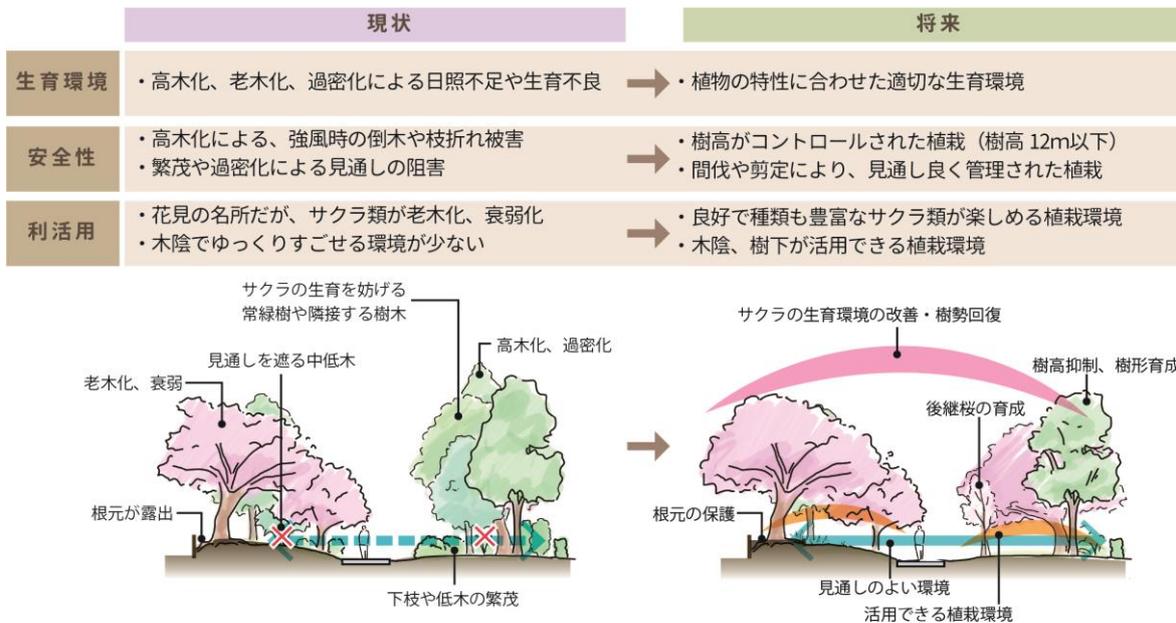
そのため、植栽されている場所の特性と、その植栽が担っている主な機能などから、管理目標、管理方針、管理手法を示した「元茨木川緑地植栽管理ガイドライン」（以下、「植栽管理ガイドライン」という）を策定しました。



【図 元茨木川緑地リ・デザイン方針と植栽管理ガイドライン】

植栽環境の健全化

- 残すべき樹木を見極めながら、景観・季節感の向上や樹木の生育、生活環境の安全性の確保や、自然災害時のリスク軽減の視点から、樹木密度管理による健全な植栽環境づくりを行う。
- 利活用にも適した健全な植栽環境づくりを行う。(例えば、花見利用に適した植栽環境、自然学習に適した植栽環境など)



【図 植栽環境の健全化】

サクラが楽しめる	<ul style="list-style-type: none"> ・元茨木川緑地全体を通して、サクラが楽しめる植栽環境 ・サクラが健全に生育することのできる植栽環境
明るくて見通しがきく	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の植栽を活かしつつ、明るくて見通しがきく植栽環境
四季を楽しめる	<ul style="list-style-type: none"> ・元茨木川緑地全体を通して、花、新緑、紅葉といった四季が楽しめる植栽環境
利活用できる広場等の空間がある	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の下を、散策や休憩、ピクニック、イベントなどに活用できる空間がある植栽環境
今のまま	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯及び防災面など必要最低限の可変にとどめ、現況の植栽が健全に生育できる植栽環境

【図 元茨木川緑地・デザインが目指す望ましい植栽環境】

2. 元茨木川緑地植栽管理ガイドラインについて

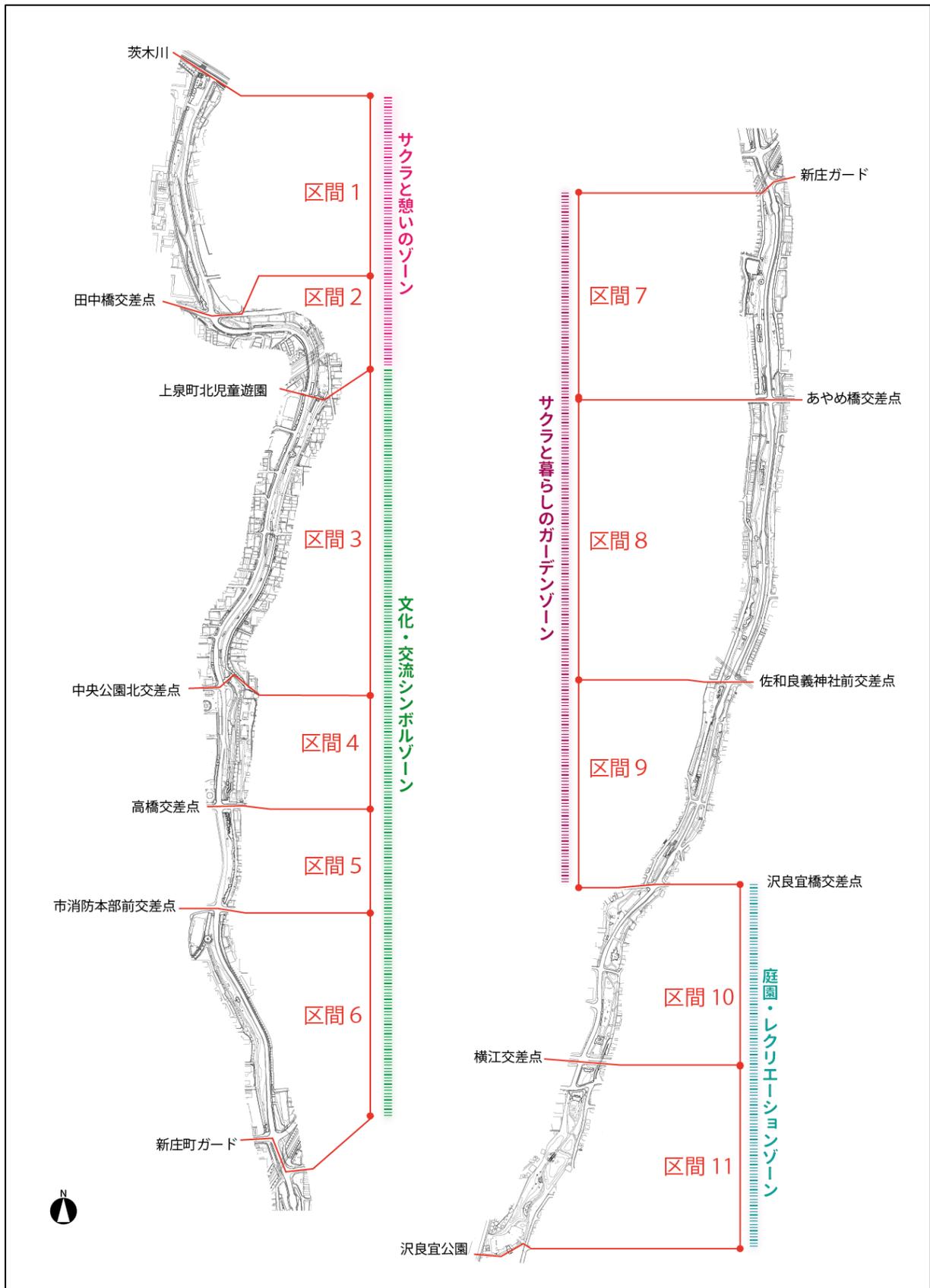
2-1. 対象

元茨木川緑地植栽管理ガイドラインでは、元茨木川緑地の区域内の高木、中木、低木、花壇植栽を対象とします。

元茨木川緑地を、場所の特性ごとに11区間に分け、区間ごとに現状と課題を整理し、ガイドラインを作成します。

【表 植栽管理ガイドライン区間一覧】

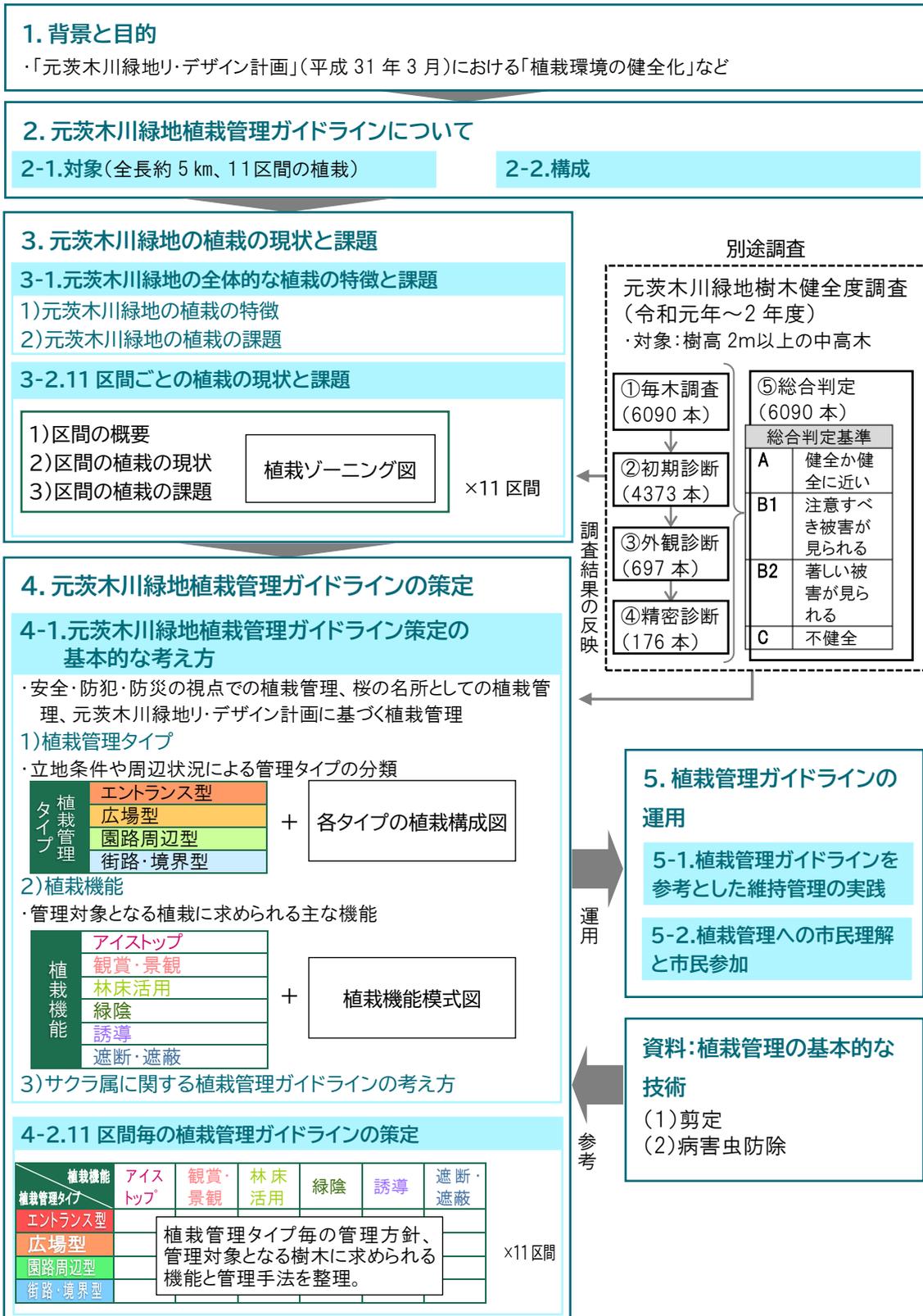
区間	対象範囲	元茨木川緑地リ・デザインゾーニング
区間1	茨木川～田中橋交差点	サクラと憩いのゾーン
区間2	田中橋交差点～上泉町北児童遊園	
区間3	上泉町北児童遊園～中央公園北交差点	文化・交流シンボルゾーン
区間4	中央公園北交差点～高橋交差点	
区間5	高橋交差点～市消防本部前交差点	
区間6	市消防本部前交差点～新庄町交差点	
区間7	新庄町交差点～あやめ橋交差点	
区間8	あやめ橋交差点～佐和良義神社前交差点	
区間9	佐和良義神社前交差点～沢良宜橋交差点	
区間10	沢良宜橋交差点～横江交差点	庭園・レクリエーションゾーン
区間11	横江交差点～沢良宜公園	



【図 植栽管理ガイドライン区間位置図】

2-2. 構成

元茨木川緑地植栽管理ガイドラインの構成は以下の通りです。



【図 植栽管理ガイドライン構成】